

フォローアップ診断カルテ

No. 21

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	13	樹高(H)= 11 m		幹周(C)= 252 cm	枝張(W)= 12 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 9/7/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/21 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☒ B2:著しい被害が見られる ☐ C:不健全					
	判定理由	根元の全周にわたってキノコ(ベッコウタケ)あり。要根株診断。枯枝(大)あり。					
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 根株 m)	腐朽空洞率: 58.00 %	t/R 率: ①0.21 ②0.38 ③0.13 ④0.27		
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ① ② ③0.13 ④		
		所見	〔根株診断〕 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	根元の全周にわたってキノコ(ベッコウタケ)あり。要根株診断。枯枝(大)あり。〔根株診断〕 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。					
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし	☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)				
☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)							
☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善()							
☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除()							
更新()	☐ その他()						
更新を要する。	☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ■: 今回診断時に実施済みが確認された処置						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断						
次回フォローアップ診断時期	☒ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)						

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/06 機器診断: [測定データ1] 2024/12/04 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回調査と同様。残置する場合は、各枯枝はシヤルノシカケが発生してい劣化がすすみやすく落枝を回避するために速やかな切除を要する。要根株診断。					
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 根株 m)	腐朽空洞率: 58.30 %	t/R 率: ①0.18 ②0.34 ③0.15 ④0.32		
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ① ② ③ ④		
		所見	〔根株診断〕 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回調査と同様。今回も根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。残置する場合は、各枯枝はシヤルノシカケが発生してい劣化がすすみやすく落枝を回避するために速やかな切除を要する。 (前回調査での判定理由: 根元の全周にわたってキノコ(ベッコウタケ)あり。要根株診断。枯枝(大)あり。根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。)					
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし	☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)				
☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)							
☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善()							
☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除()							
更新()	☐ その他()						
更新を要する。	☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ■: 今回診断時に実施済みが確認された処置						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断						
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)						

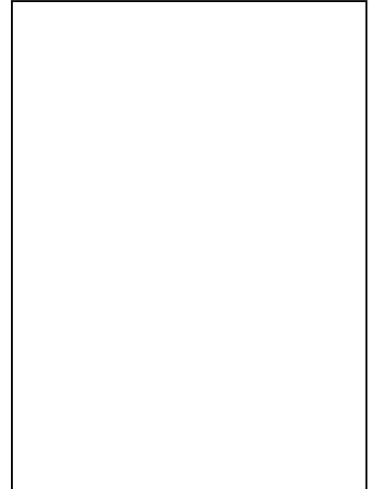
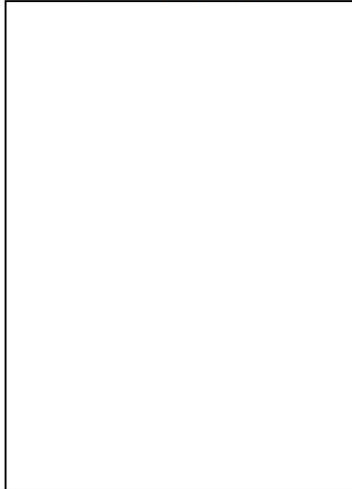


全景写真

前回診断結果被害部写真



根元のベッコウタケ



フォローアップ診断結果被害部写真



根元のベッコウタケ



枯枝



枯枝

フォローアップ診断カルテ

No. 23

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	15	樹高(H)= 9 m		幹周(C)= 187 cm	枝張(W)= 10 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

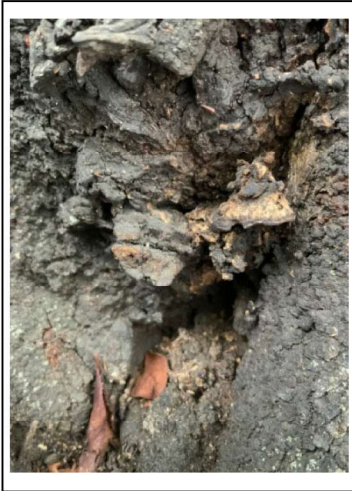
前回診断結果	診断日	外観診断: 9/7/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/21 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☒ B2:著しい被害が見られる ☐ C:不健全					
	判定理由	枯枝(大)あり。根元から幹にかけて木槌打診音異常(大)あり。根元にキコもあるため、要根株診断。					
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 54.60 % t/R 率: ①0.30 ②0.20 ③0.24 ④0.30				
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③0.24 ④				
		所見	<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に②③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	枯枝(大)あり。根元から幹にかけて木槌打診音異常(大)あり。根元にキコもあるため、要根株診断。<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に②③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。					
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり	
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()		☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☒ : 今回診断時に実施済みが確認された処置		
更新を要する。							
摘要							
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断						
次回フォローアップ診断時期	☒ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)						

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/06 機器診断: [測定データ1] 2024/12/04 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回調査と同様。前回の根株診断結果もふまえて C 判定とする。新たに幹にベッコウケが発生し、ケニアカツカミギリ様のフラスが 2 カ所堆積している。要根株診断。					
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 58.10 % t/R 率: ①0.29 ②0.09 ③0.33 ④0.21				
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③ ④				
		所見	<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①②④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回調査と同様。今回は根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。新たに幹にベッコウケが発生し、ケニアカツカミギリ様のフラスが 2 カ所堆積している。 (前回調査での判定理由: 枯枝(大)あり。根元から幹にかけて木槌打診音異常(大)あり。根元にキコもある。根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。)					
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり	
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()		☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☒ : 今回診断時に実施済みが確認された処置		
更新を要する。							
摘要							
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断						
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)						

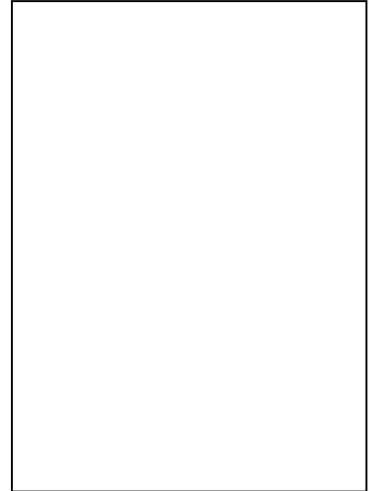
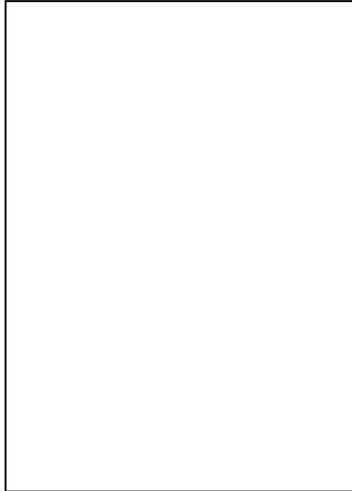


全景写真

前回診断結果被害部写真



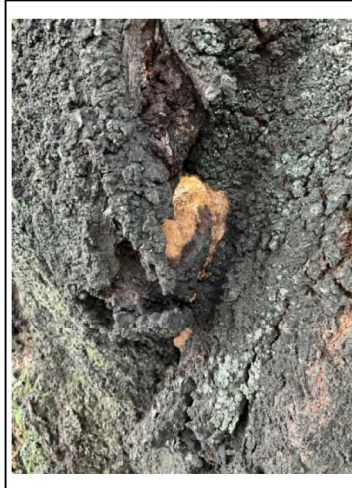
根元のキノコ(種不明)



フォローアップ診断結果被害部写真



根元のキノコ(種不明)



幹のベッコウタケ



クビアカ様のフラス

フォローアップ診断カルテ

No. 30

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	29	樹高(H)= 9.5 m		幹周(C)= 216 cm	枝張(W)= 9 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 9/1/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/21 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	不健全。幹が車道側建築限界を越えている。撤去・植替えを要する。幹に腐朽とカワウソタケあり、根元から幹の打診音異常が著しいため、幹の腐朽診断を要する(G.L.1.5m)。					
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 1.5 m)	腐朽空洞率: 47.80 %	t/R 率: ①0.00 ②0.35 ③0.54 ④0.39		
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ① ② ③0.54 ④		
		所見	〈腐朽診断 1.5m〉 幹に大きな腐朽空洞が認められる。特に①方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	不健全。幹が車道側建築限界を越えている。撤去・植替えを要する。幹に腐朽とカワウソタケあり、根元から幹の打診音異常が著しいため、幹の腐朽診断を要する(G.L.1.5m)。 〈腐朽診断 1.5m〉 幹に大きな腐朽空洞が認められる。特に①方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。					
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし	☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置	
摘要			更新を要する。				
次回診断			☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断				
次回フォローアップ診断時期			☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)				

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/06 機器診断: [測定データ1] 2024/12/04 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回調査と同様。歩道側の樹皮枯死と打診音異常は一層明瞭となり、倒木の危険が増大している。要腐朽診断(H1.5m)。					
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. G.L.1.5m m)	腐朽空洞率: 62.20 %	t/R 率: ①0.19 ②0.29 ③0.23 ④0.13		
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ① ② ③ ④		
		所見	〈腐朽診断 1.5m〉 幹に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回調査と同様。歩道側の樹皮枯死と打診音異常は一層明瞭となり、倒木の危険が増大している。〈腐朽診断 1.5m〉幹に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。 〈前回調査での判定理由: 不健全。幹が車道側建築限界を越えている。幹に腐朽とカワウソタケあり、根元から幹の打診音異常が著しい。〈腐朽診断 1.5m〉 幹に大きな腐朽空洞が認められる。〉					
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし	☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置	
摘要							
次回診断			☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断				
次回フォローアップ診断時期			☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)				

フォローアップ診断カルテ

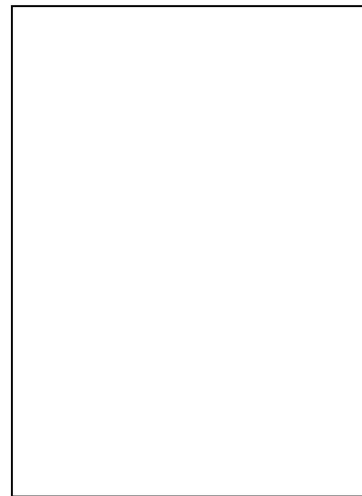
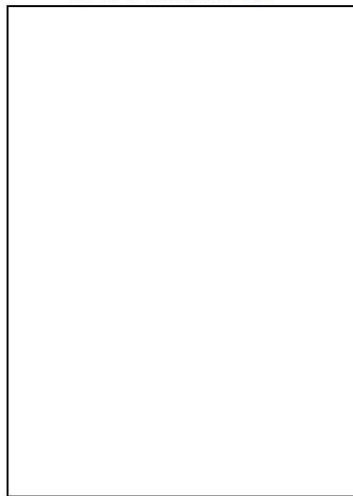


全景写真

前回診断結果被害部写真



幹の腐朽



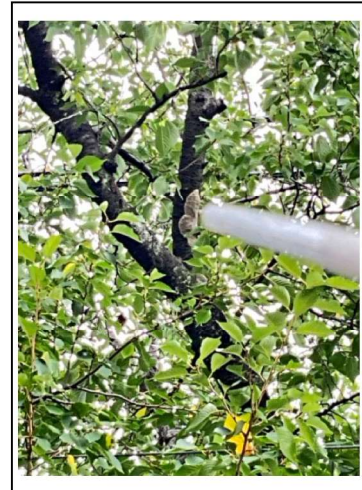
フォローアップ診断結果被害部写真



幹の腐朽



根元から幹の樹皮枯死



大枝のシイサルノシカケ

フォローアップ診断カルテ

No. 31

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	30		樹高(H)=	9.5 m	幹周(C)=	214 cm 枝張(W)= 7 m
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 9/1/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/21 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	不健全。幹が車道側建築限界を越えている。撤去・植替えを要する。鋼棒貫入異常と打診音異常のため、要根株診断。				
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率:50.40 % t/R 率:①0.37 ②0.39 ③0.16 ④0.24			
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率:① ② ③0.16 ④			
		所見	〔根株診断〕 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	不健全。幹が車道側建築限界を越えている。撤去・植替えを要する。鋼棒貫入異常と打診音異常のため、要根株診断。〔根株診断〕根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)		☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)	
☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善()			☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除()			
☒ 更新() ☐ その他()			☒ :前回診断時に必要とされた処置 ☒ :今回診断時に実施済みが確認された処置			
摘要		更新を要する。				
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/06 機器診断: [測定データ1] 2024/12/04 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。前回の根株診断結果をふまえてC判定とする。要根株診断。				
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率:58.40 % t/R 率:①0.23 ②0.32 ③0.27 ④0.12			
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率:① ② ③ ④			
		所見	〔根株診断〕 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。今回も根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。(前回調査での判定理由:不健全。幹が車道側建築限界を越えている。鋼棒貫入異常と打診音異。根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。)				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)		☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)	
☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善()			☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除()			
☒ 更新() ☐ その他()			☒ :前回診断時に必要とされた処置 ☒ :今回診断時に実施済みが確認された処置			
摘要						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					



全景写真

前回診断結果被害部写真



鋼棒貫入異常



鋼棒貫入異常



幹の樹皮欠損

フォローアップ診断結果被害部写真



鋼棒貫入異常



鋼棒貫入異常



幹の樹皮欠損

フォローアップ診断カルテ

No. 33

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	32	樹高(H)= 9 m		幹周(C)= 237 cm	枝張(W)= 7.5 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 9/1/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/21 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☒ B2:著しい被害が見られる ☐ C:不健全					
	判定理由	鋼棒貫入異常(芯達)あり。車道側縁石から巻込んだ太根が剥離し、根株の空洞と連結している。樹体が動揺している恐れあり。要根株診断。					
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 64.20 % t/R 率: ①0.14 ②0.38 ③0.17 ④0.16				
		測定データ2	部位 (G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③0.17 ④				
		所見	<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	鋼棒貫入異常(芯達)あり。車道側縁石から巻込んだ太根が剥離し、根株の空洞と連結している。樹体が動揺している恐れあり。要根株診断。<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。					
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり	
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()				☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置
更新を要する。							
摘要							
次回診断			☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断				
次回フォローアップ診断時期	☒ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)						

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/06 機器診断: [測定データ1] 2024/12/04 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回調査と同様。打診音異常は明瞭で倒木の危険が差し迫っている。要根株診断。					
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 62.70 % t/R 率: ①0.12 ②0.41 ③0.20 ④0.14				
		測定データ2	部位 (G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③ ④				
		所見	<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回調査と同様。今回も根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。打診音異常は明瞭で倒木の危険が差し迫っている。(前回調査での判定理由: 鋼棒貫入異常(芯達)あり。車道側縁石から巻込んだ太根が剥離し、根株の空洞と連結している。樹体が動揺している恐れあり。根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。)					
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり	
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()				☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置
更新を要する。							
摘要							
次回診断			☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断				
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)						



全景写真

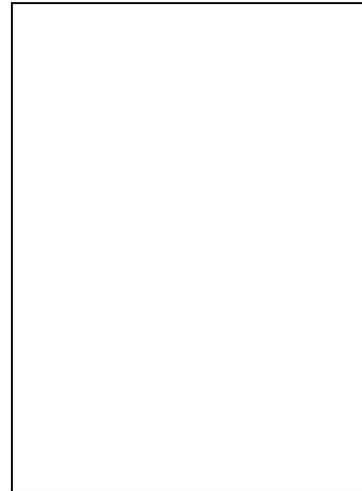
前回診断結果被害部写真



幹のキノ(種不明)



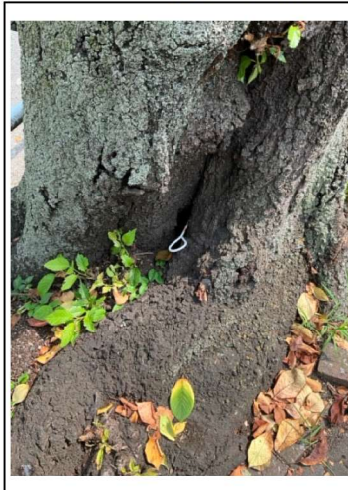
根元の開口空洞



フォローアップ診断結果被害部写真



幹のキノ(種不明)



根元の開口空洞



露出根のキノ(種不明)

フォローアップ診断カルテ

No. 35

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	34		樹高(H)= 11 m	幹周(C)= 225 cm	枝張(W)= 12 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 9/1/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/21 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	不健全。幹が歩道側建築限界を越えている。撤去・植替えを要する。根元のベッコウタケが発生して、打診音異常もあるため要根株診断。					
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 63.40 % t/R 率: ①0.19 ②0.27 ③0.25 ④0.11				
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③0.25 ④				
		所見	〈根株診断〉 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	不健全。幹が歩道側建築限界を越えている。撤去・植替えを要する。根元のベッコウタケが発生して、打診音異常もあるため要根株診断。 〈根株診断〉 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。					
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり	
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)				
☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)							
☐ 樹体保護() ☐ 根上がり() ☒ 更新()			☐ 植栽基盤の改善() ☐ 病虫害防除() ☐ その他()				
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☒ : 今回診断時に実施済みが確認された処置							
摘要	更新を要する。						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断						
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)						

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/06 機器診断: [測定データ1] 2024/12/05 [測定データ2]					
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回の根株診断結果をふまえて C 判定とする。新規ベッコウタケの発生はなかったものの新たにコフキタケと銅棒貫入異常は確認された。要根株診断。					
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 70.50 % t/R 率: ①0.12 ②0.23 ③0.24 ④0.05				
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③ ④				
		所見	〈根株診断〉 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全					
	判定理由	前回の根株診断結果をふまえて C 判定とする。新規ベッコウタケの発生はなかったものの新たにコフキタケと銅棒貫入異常は確認された。〈根株診断〉 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。					
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり	
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)				
☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)							
☐ 樹体保護() ☐ 根上がり() ☒ 更新()			☐ 植栽基盤の改善() ☐ 病虫害防除() ☐ その他()				
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☒ : 今回診断時に実施済みが確認された処置							
摘要							
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断						
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)						

フォローアップ診断カルテ

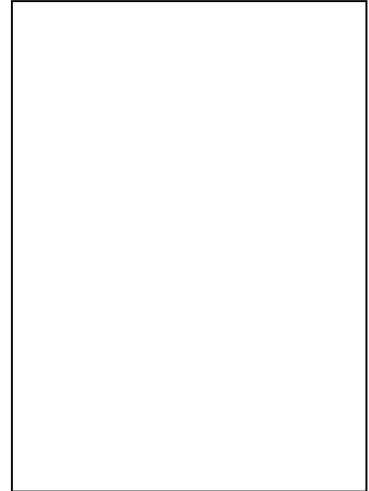
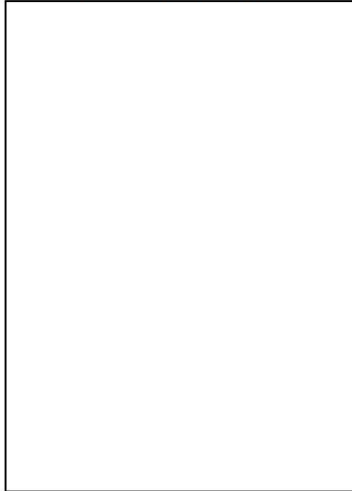


全景写真

前回診断結果被害部写真



根元のベッコウタケ



フォローアップ診断結果被害部写真



根元のベッコウタケ



根元のコキタケ



鋼棒貫入異常

フォローアップ診断カルテ

No. 37

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	36		樹高(H)= 11 m	幹周(C)= 269 cm	枝張(W)= 10 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 9/1/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/21 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☒ B2:著しい被害が見られる ☐ C:不健全				
	判定理由	各部被害が著しく、残す場合は大規模な軽減剪定が必要。鋼棒貫入異常(芯達)あり、要根株診断。クビアカ様のフラスあり。				
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 68.60 % t/R 率: ①0.33 ②0.16 ③0.25 ④0.00			
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③0.25 ④			
		所見	<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に②③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	各部被害が著しく、残す場合は大規模な軽減剪定が必要。鋼棒貫入異常(芯達)あり、要根株診断。クビアカ様のフラスあり。<根株診断>根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に②③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
更新を要する。						
摘要						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☒ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

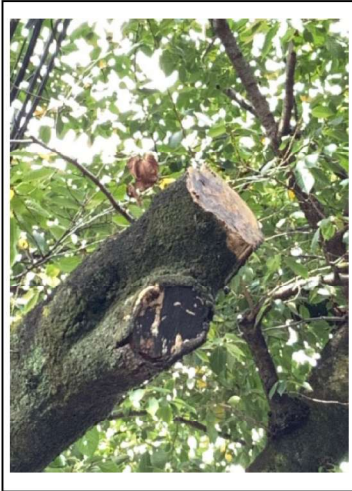
フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/06 機器診断: [測定データ1] 2024/12/05 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。幹の腐朽は拡大、20 cm 程度貫入するようになったことから内部も相応に腐朽が進展し、腐朽空洞はさらに進んだ恐れがある。要根株診断。				
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 60.40 % t/R 率: ①0.32 ②0.43 ③0.15 ④0.00			
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③ ④			
		所見	<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。今回も根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。幹の腐朽は拡大、20 cm 程度貫入するようになったことから内部も相応に腐朽が進展し、腐朽空洞はさらに進んだ恐れがある。 (前回調査での判定理由: 各部被害が著しく、残す場合は大規模な軽減剪定が必要。鋼棒貫入異常(芯達)あり、要根株診断。クビアカ様のフラスあり。 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。)				
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
摘要						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

フォローアップ診断カルテ



全景写真

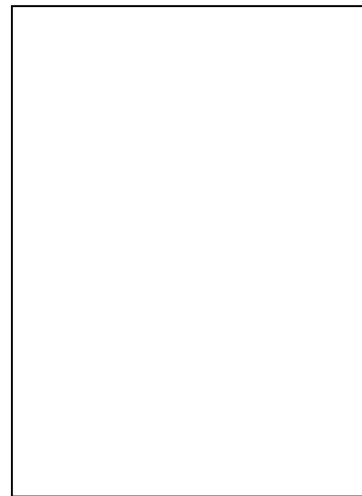
前回診断結果被害部写真



枯枝



銅棒貫入異常



フォローアップ診断結果被害部写真



枯枝



銅棒貫入異常



幹の腐朽

フォローアップ診断カルテ

No. 42

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	44		樹高(H)= 11 m	幹周(C)= 199 cm	枝張(W)= 8 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 8/31/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/22 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☒ B2:著しい被害が見られる ☐ C:不健全				
	判定理由	根元にキノコ(ベッコウタケ)あり、根張りや露出根にて打診音異常が顕著であるため、要根株診断。大枝の樹皮枯死の被害は大きく、進行している、要切除。枯枝(大)あり。				
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 50.30 % t/R 率: ①0.26 ②0.33 ③0.00 ④0.66			
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③0.00 ④			
	所見	☒ 根株診断 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	根元にキノコ(ベッコウタケ)あり、根張りや露出根にて打診音異常が顕著であるため、要根株診断。大枝の樹皮枯死の被害は大きく、進行している、要切除。枯枝(大)あり。根株診断 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☒ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☒ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
摘要			更新を要する。			
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☒ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/07 機器診断: [測定データ1] 2024/12/05 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。ベッコウタケの活動は確認できなくなったがコフキタケは引き続き活動的。新たに根元の樹皮枯死が確認された。要根株診断。				
	機器診断	測定データ1	部位(G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 53.50 % t/R 率: ①0.24 ②0.49 ③0.00 ④0.40			
		測定データ2	部位(G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③ ④			
	所見	☒ 根株診断 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。ベッコウタケの活動は確認できなくなったがコフキタケは引き続き活動的。新たに根元の樹皮枯死が確認された。今回も根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。 (前回調査での判定理由: 根元にキノコ(ベッコウタケ)あり、根張りや露出根にて打診音異常が顕著である。大枝の樹皮枯死の被害は大きく、進行している、要切除。枯枝(大)あり。根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。)				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☒ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☒ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
摘要						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

フォローアップ診断カルテ

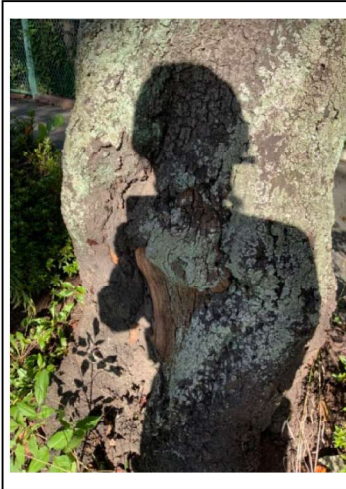


全景写真

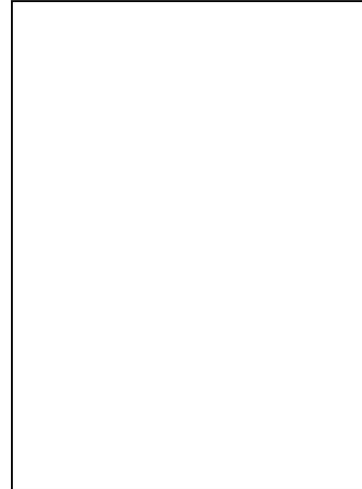
前回診断結果被害部写真



露出根のコキタケ



根元から幹の腐朽



フォローアップ診断結果被害部写真



露出根のコキタケ



根元から幹の腐朽



根元の樹皮枯死

フォローアップ診断カルテ

No. 51

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	58		樹高(H)= 12 m	幹周(C)= 186 cm	枝張(W)= 8 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 9/5/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/23 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A: 健全か健全に近い ☐ B1: 注意すべき被害が見られる ☒ B2: 著しい被害が見られる ☐ C: 不健全				
	判定理由	幹心材腐朽が拡大して根株まで到達している模様。下枝を2カ所不自然に切除されていて、幹空洞の影響で枯死したためかもしれない。根元から幹にかけて木槌打診音異常(大)あり。幹の腐朽診断を要する(G.L.1.6m)。				
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 1.6 m)	腐朽空洞率: 62.90 %	t/R 率: ①0.19 ②0.43 ③0.00 ④0.16	
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ① ② ③0.00 ④	
		所見	〈腐朽診断 1.6m〉 幹に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A: 健全か健全に近い ☐ B1: 注意すべき被害が見られる ☐ B2: 著しい被害が見られる ☒ C: 不健全				
	判定理由	幹心材腐朽が拡大して根株まで到達している模様。下枝を2カ所不自然に切除されていて、幹空洞の影響で枯死したためかもしれない。根元から幹にかけて木槌打診音異常(大)あり。幹の腐朽診断を要する(G.L.1.6m)。 〈腐朽診断 1.6m〉 幹に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
摘要			更新を要する。			
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☒ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

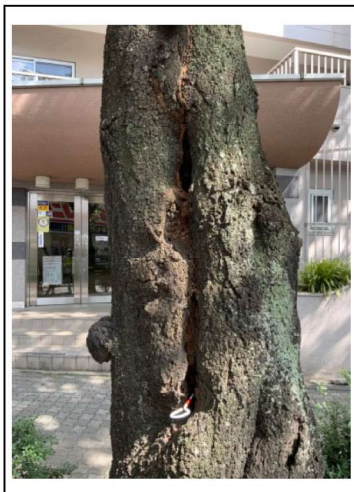
フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/07 機器診断: [測定データ1] 2024/12/05 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A: 健全か健全に近い ☐ B1: 注意すべき被害が見られる ☐ B2: 著しい被害が見られる ☒ C: 不健全				
	判定理由	前回調査と同様。種不明のキノコは消失。幹の開口空洞はさらに進展して開口部と反対側の穿孔虫害痕からも貫入できるようになった(写真②)。要腐朽診断(H1.2m)。				
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. G.L.1.2m m)	腐朽空洞率: 65.10 %	t/R 率: ①0.21 ②0.30 ③0.00 ④0.25	
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ① ② ③ ④	
		所見	〈腐朽診断 1.2m〉 幹に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。			
	総合判定	☐ A: 健全か健全に近い ☐ B1: 注意すべき被害が見られる ☐ B2: 著しい被害が見られる ☒ C: 不健全				
	判定理由	前回調査と同様。幹の開口空洞はさらに進展して開口部と反対側の穿孔虫害痕からも貫入できるようになった(写真②)。〈腐朽診断 1.2m〉今回も幹に非常に大きな腐朽空洞が認められる。 〈前回調査での判定理由: 幹心材腐朽が拡大して根株まで到達している模様。根元から幹にかけて木槌打診音異常(大)あり。〈腐朽診断 1.6m〉幹に非常に大きな腐朽空洞が認められる。〉				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
摘要						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

フォローアップ診断カルテ

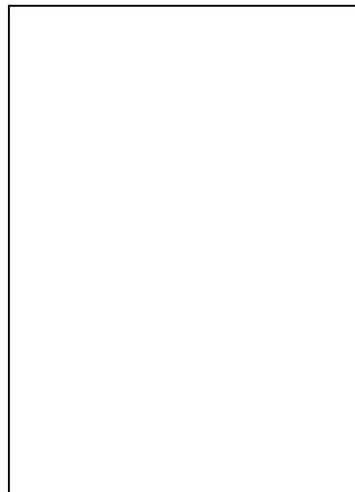
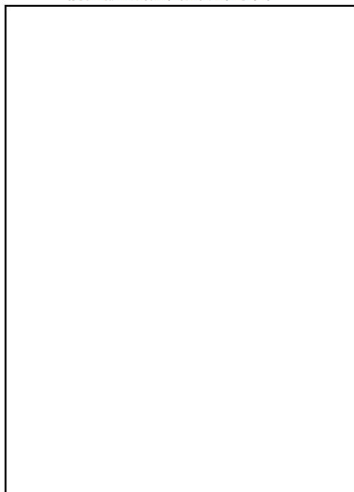


全景写真

前回診断結果被害部写真



幹の開口空洞



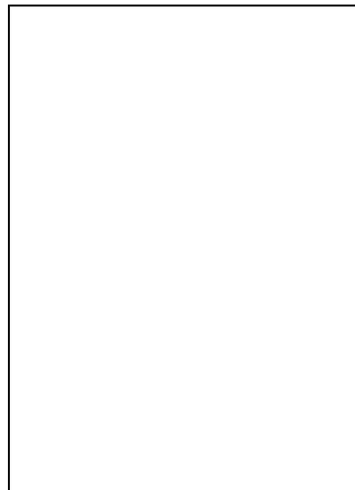
フォローアップ診断結果被害部写真



幹の開口空洞



幹の開口空洞



フォローアップ診断カルテ

No. 52

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	62		樹高(H)= 11 m	幹周(C)= 141 cm	枝張(W)= 9 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 9/5/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/23 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	不健全。幹が車道側建築限界を越えている。撤去・植替えを要する。幹にかワウツケが発生した影響により、幹断面形状が扁平。幹の腐朽診断を要する(G.L.1.6m)。				
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 1.6 m)	腐朽空洞率: 49.50 %	t/R 率: ①0.31 ②0.00 ③0.47 ④0.40	
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ① ② ③0.47 ④	
		所見	〈腐朽診断 1.6m〉 幹に大きな腐朽空洞が認められる。特に②方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	不健全。幹が車道側建築限界を越えている。撤去・植替えを要する。幹にかワウツケが発生した影響により、幹断面形状が扁平。幹の腐朽診断を要する(G.L.1.6m)。 〈腐朽診断 1.6m〉 幹に大きな腐朽空洞が認められる。特に②方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
摘要			更新を要する。			
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☒ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

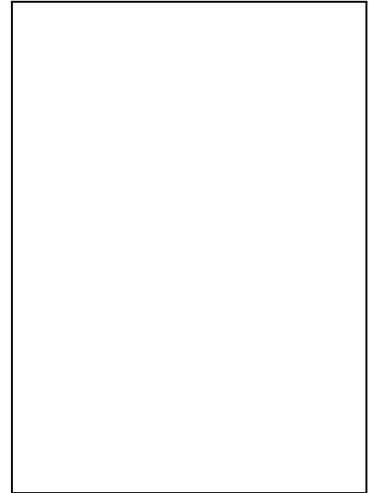
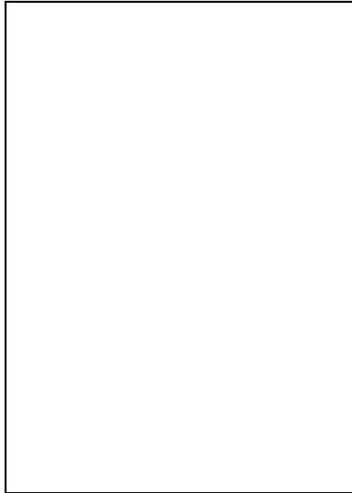
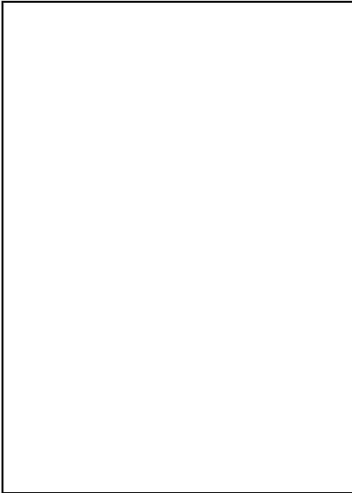
フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/07 機器診断: [測定データ1] 2024/12/05 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。幹のかワウツケは新規に子実体を形成していないが、下枝が枯死し回復の見込みはさらに乏しくなった。要腐朽診断(H1.6m)。				
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. G.L.1.6m m)	腐朽空洞率: 51.40 %	t/R 率: ①0.16 ②0.00 ③0.53 ④0.42	
		測定データ2	部位 (G.L. m)	腐朽空洞率: %	t/R 率: ① ② ③ ④	
		所見	〈腐朽診断 1.6m〉 幹に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①②方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。幹のかワウツケは新規に子実体を形成していないが、下枝が枯死し回復の見込みはさらに乏しくなった。〈腐朽診断 1.6m〉幹に非常に大きな腐朽空洞が認められる。 〈前回調査での判定理由: 不健全。幹が車道側建築限界を越えている。幹にかワウツケが発生。〈腐朽診断 1.6m〉幹に大きな腐朽空洞が認められる。〉				
	処置	必要性	☐ なし	☒ あり	緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
摘要						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

フォローアップ診断カルテ



全景写真

前回診断結果被害部写真



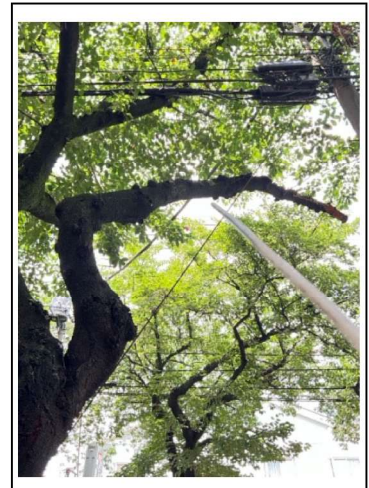
フォローアップ診断結果被害部写真



幹のカワウソタケ



幹のカワウソタケ



枯枝

フォローアップ診断カルテ

No. 54

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	64		樹高(H)=	12 m	幹周(C)=	222 cm 枝張(W)= 10 m
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

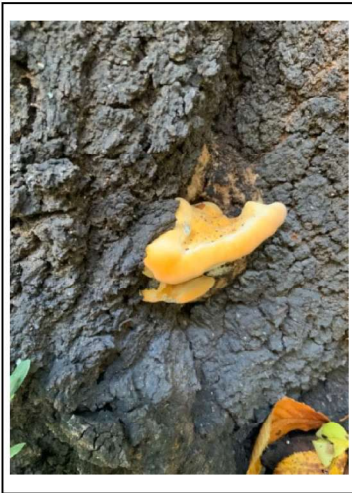
前回診断結果	診断日	外観診断: 9/5/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/23 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	不健全。幹が車道側建築限界を越えている。繰り返し車両接触している。撤去・植替えを要する。幹にベッコウタケあり、要根株診断。				
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 51.90 % t/R 率: ①0.08 ②0.24 ③0.55 ④0.26			
		測定データ2	部位 (G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③0.55 ④			
		所見	〔根株診断〕 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①②④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	不健全。幹が車道側建築限界を越えている。繰り返し車両接触している。撤去・植替えを要する。幹にベッコウタケあり、要根株診断。〔根株診断〕根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①②④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)			
☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)						
☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善()						
☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除()						
更新()	☐ その他()					
更新を要する。	☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置					
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/07 機器診断: [測定データ1] 2024/12/05 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。新たに根元のコフキタケが発生。車両接触はさらに繰り返されている。要根株診断。				
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 52.50 % t/R 率: ①0.10 ②0.26 ③0.40 ④0.34			
		測定データ2	部位 (G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③ ④			
		所見	〔根株診断〕 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に①②方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。新たに根元のコフキタケが発生。車両接触はさらに繰り返されている。今回も根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。〔前回調査での判定理由: 不健全。幹が車道側建築限界を越えている。繰り返し車両接触している。撤去・植替えを要する。幹にベッコウタケあり。根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。〕				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期)			
☐ 剪定(☐ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☐ スタブカット ☐ 巻き根)						
☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善()						
☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除()						
更新()	☐ その他()					
更新を要する。	☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☐ : 今回診断時に実施済みが確認された処置					
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

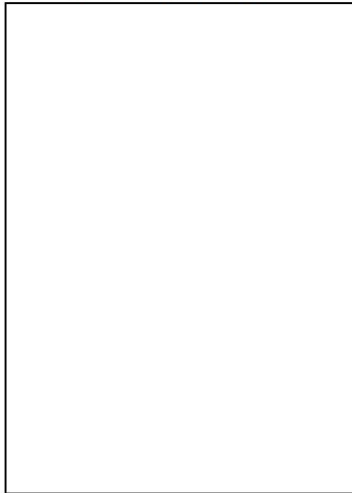


全景写真

前回診断結果被害部写真



幹のベッコウタケ



幹の腐朽(車両接触痕)

フォローアップ診断結果被害部写真



幹のベッコウタケ



根元のコキタケ



幹の腐朽(車両接触痕)

フォローアップ診断カルテ

No. 55

事務所名: 国立市道路交通課

路線名	矢川通り		樹木医			
樹木番号	65		樹高(H)= 12 m	幹周(C)= 209 cm	枝張(W)= 11 m	
樹種名	サクラ	植栽形態	☒ 単独樹 ☐ 植栽帯 ☐ 緑地内 ☐ その他			支柱 ☐ 良好 ☒ なし ☐ 破損

前回診断結果	診断日	外観診断: 9/5/2022 機器診断: [測定データ1] 2022/12/23 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☒ B2:著しい被害が見られる ☐ C:不健全				
	判定理由	枝が大きく歩道側建築限界を越えている。切除すると活力低下の可能性がある。根元から幹のキコは記載のほか古いものが各方向にあり。打診音異常も大きい。要根株診断。				
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 58.20 % t/R 率: ①0.37 ②0.15 ③0.21 ④0.22			
		測定データ2	部位 (G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③0.21 ④			
		所見	<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に②③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	枝が大きく歩道側建築限界を越えている。切除すると活力低下の可能性がある。根元から幹のキコは記載のほか古いものが各方向にあり。打診音異常も大きい。要根株診断。<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。特に②③④方向では、腐朽空洞化の進行により、健全材が薄くなっている。				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☒ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☒ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
摘要			更新を要する。			
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☒ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

フォローアップ診断結果	診断日	外観診断: 2024/08/07 機器診断: [測定データ1] 2024/12/05 [測定データ2]				
	外観診断判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。幹のコキタケは子実体更新はみられないが、根元のベッコウタケは引き続き活動的で危険な状態は変わらない。要根株診断。				
	機器診断	測定データ1	部位 (G.L. 根株 m) 腐朽空洞率: 64.50 % t/R 率: ①0.09 ②0.29 ③0.13 ④0.22			
		測定データ2	部位 (G.L. m) 腐朽空洞率: % t/R 率: ① ② ③ ④			
		所見	<根株診断> 根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。現状で倒木の危険性が高いため、撤去・植替えを行うことが望ましい。			
	総合判定	☐ A:健全か健全に近い ☐ B1:注意すべき被害が見られる ☐ B2:著しい被害が見られる ☒ C:不健全				
	判定理由	前回調査と同様。幹のコキタケは子実体更新はみられないが、根元のベッコウタケは引き続き活動的で危険な状態は変わらない。今回も根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。 (前回調査での判定理由: 枝が大きく歩道側建築限界を越えている。切除すると活力低下の可能性がある。根元から幹のキコは記載のほか古いものが各方向にあり。打診音異常も大きい。根株に非常に大きな腐朽空洞が認められる。)				
	処置	必要性	☐ なし ☒ あり		緊急性	☒ なし ☐ あり
		内容	☐ 要観察(長期周期) ☐ 要観察(短期周期) ☒ 剪定(☒ 枯枝 ☐ 腐朽枝等 ☐ 支障枝 ☐ 風圧軽減 ☒ スタブカット ☐ 巻き根) ☐ 樹体保護() ☐ 植栽基盤の改善() ☐ 根上がり() ☐ 病虫害防除() ☒ 更新() ☐ その他()			
☒ : 前回診断時に必要とされた処置 ☒ : 今回診断時に実施済みが確認された処置						
摘要						
次回診断	☐ フォローアップ診断(☐ 要機器診断 測定部位:) ☐ 外観診断					
次回フォローアップ診断時期	☐ 1年後 ☐ 2年後 ☐ 3年後 (年度)					

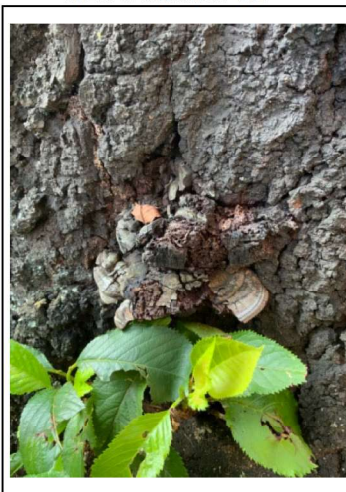


全景写真

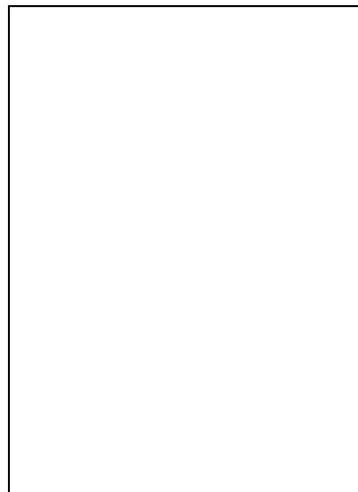
前回診断結果被害部写真



根元と幹のベッコウタケ



幹のコフキタケ



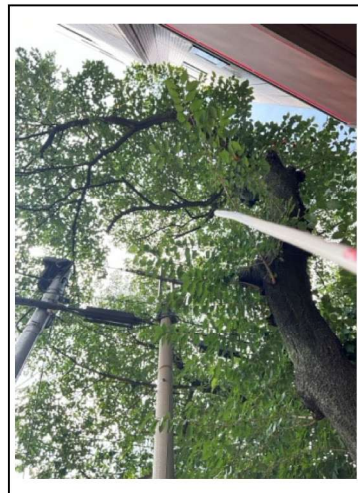
フォローアップ診断結果被害部写真



根元と幹のベッコウタケ



幹のコフキタケ



枯枝